



## 寺田 健人

連続企画 — 写真を問う: part 2

「聞こえないように、見えないように」



© Kento Terada, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

2025年7月29日(火) - 9月20日(土)

\*8月2日(土)17:00 - 19:00にオープニングレセプションを行います。

\*8月10日(日) - 8月18日(月)の期間、展覧会は開催しておりません。

Yumiko Chiba Associates

東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F

営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日

この度、Yumiko Chiba Associates では、写真作家・寺田健人による個展を開催します。寺田は、1991年に沖縄に生まれ、2019年に東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻を修了した気鋭の作家です。近年は、写真を中心に、多様な手法を取り入れたインスタレーションなどを制作し注目を集めています。

寺田が制作する写真は、ストレートフォトから演出を加えたものまで多岐にわたります。たとえば、寺田が想像上の父親となって不在の家族との団欒などを演じる《想像上の妻と娘にケーキを買って帰る》では、生まれ持った性によって決定され内面化される性的規範や社会規範、セクシュアリティ、男性性、そこから排除されるクィア的な性/生のありようなどが多重化された批評的な作品です。寺田は、写真というメディアを通して、社会のなかで不可視化された構造や歴史、見えない他者の姿や声を取り上げようとしているようです。

ギャラリーでは初の個展となる本展では、街の壁に残る銃痕、基地跡地に広がる空き地、戦後訓練に使われた葉莖や、死者に手向けられた冥銭「うちかび」など、寺田の出身地である沖縄にいまも残る戦争の記憶をたどりながら制作された写真と版画による作品を発表します。

本展は、Yumiko Chiba Associates による展覧会シリーズ「写真を問う」の一環として開催いたします。ぜひご覧ください。



## アーティストステートメント

語られてきた戦争の記憶がある。  
けれど、それでもなお、沖縄の風景や、そこに残るものの手触りには、言葉にならない感覚や、沈んだままの時間が静かに息づいている。

私は、それらに耳を澄ますようにして、作品をつくっている。  
街の壁に残る銃痕、基地跡地に広がる空き地、  
戦時中に使われた葉莢や、死者に手向けられた冥銭「うちかび」。  
それらの素材に触れ、写真や版画として編みなおしながら、  
記憶と現在が重なりあう場所を探っている。

それは記録でも再現でもない。  
いまこの場所に生きる身体で、風景や素材にもう一度触れ直すこと。  
忘れられた声や、語られなかった感情の痕跡に、そっと手をのばすような行為だ。

今回の作品では、街に残された弾痕のイメージをリトグラフとして刷り上げた。  
素材として用いたのは、現在も米軍から放出されている銃弾の葉莢である。  
土地に刻まれた傷を浮かび上がらせ、その痕跡を目立たせることで、  
癒すのではなく、忘れずにまなざすための“かたち”を探っている。

戦争の記憶だけでなく、  
そのなかを生きた人びとのまなざしや、日々の営みにも目を向けたい。  
過去は過ぎ去ったものではなく、いまの風景のなかに、確かに沁み込んでいる。

この作品群は、明確な答えを示すためのものではない。  
沖縄という場所に立ちながら、  
私たちは何を感じ、何を引き継ぎ、何を手放していけるのか――  
その問いを、ひとつの風景として差し出す試みである。

寺田健人

### 【トークイベント】

#### 寺田健人 x 山本浩貴 (文化研究者、実践女子大学文学部美学美術史学科准教授)

2025年8月30日(土) 16:00-18:00 (受付開始 15:45)

会場：Yumiko Chiba Associates

定員：15名\*事前登録予約制

参加費：無料

\*申し込み詳細等は改めてご案内いたします。

### 登壇者プロフィール

#### 寺田健人

1991年沖縄県生まれ。

写真を軸に、映像や立体など多様な手法を取り入れたインスタレーションによって制作を行う。人がどのようにして「性」や「生まれ」といった社会的な枠組みによって行動や思考を方向づけられていくのかに関心を持ち、「個人的なことは政治的なこと」というラディカル・フェミニズムの視点を足がかりに、そうした構造を問直す手段として表現を行っている。

現在、東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科 助教、京都芸術大学通信教育部美術科写真コース 業務担当非常勤講師。

#### 山本浩貴(文化研究者、実践女子大学文学部美学美術史学科准教授)

文化研究者。1986年千葉県生まれ。

一橋大学社会学部卒業後、ロンドン芸術大学にて修士号・博士号取得。香港理工大学ポストドクトラルフェロー、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科助教、金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科芸術学専攻講師を経て、2024年より実践女子大学文学部美学美術史学科准教授。単著に『現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル』(中央公論新社、2019年)、『ポスト人新世の芸術』(美術出版社、2022年)、共著に『トランスナショナルなアジアにおけるメディアと文化 発散と収束』(ヘス・バク編、ラトガース大学出版、2020年)、『レイシズムを考える』(清原悠編、共和国、2021年)、『東アジアのソーシャリー・エンゲージド・パブリック・アート活動する空間、場所、コミュニティ』(メイキン・ワン編、ペーノン・プレス、2022年)、『新しいエコロジーとアート「まごつき期」としての人新世』(長谷川祐子編、以文社、2022年)などがある。監修書に『基礎から学べる現代アート』(亀井博司著、晶文社、2023年)、共編著に『この国(近代日本の芸術)「日本美術史」を脱帝国主義化する』(小田原のどかとの共編、月曜社、2023年)。



## ■アーティストプロフィール

## 寺田健人

1991年 沖縄県生まれ、東京都拠点  
2017年 沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科芸術学専攻卒業  
2019年 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了  
2024年 横浜国立大学大学院都市イノベーション学府都市イノベーション専攻博士課程後期単位取得満期退学

## 【主な個展】

2015年 「クローゼットに手を触れて」 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館（沖縄）  
2019年 「NEW SHELTER?」 銀座奥野ビル 306号室プロジェクト（東京）  
2021年 「Living with my imaginary wife and daughter」 藝大食堂 showcase（茨城）  
2022年 「想像上の妻と娘にケーキを買って帰る」 BankART KAIKO（神奈川）

## 【主なグループ展】

2013年 「とー展」 Gallery Space PinoO（沖縄）  
2014年 「寺田健人×酒井美和 二人展」 芸祭 2014（沖縄）  
2015年 「0になるとき 沖縄県立芸術大学+宝塚大学交流展」 芸祭 2015（沖縄）  
2017年 「経過展-2017-」 東京藝術大学上野校地大学会館展示室（東京）  
「ATLAS展」 東京藝術大学取手校地（茨城）  
2018年 「THEY SHOOT PBFILM Exhibition」 .LAB RAINROOTS（愛知）  
「WIP展 2018」 東京藝術大学取手校地（茨城）  
「BARRAK アンデパンダン -生き抜くために、創るのだ。」 BARRAK（沖縄）  
「Monochrome photo exhibition」 ゆう画廊（東京）  
2019年 「第67回 東京藝術大学卒業・修了制作展」 東京藝術大学（東京）  
2020年 「トランスポートレイト」 Roonee 247 fine arts（東京）  
「沖縄も私 ~つながっていることつなげること~」 茨城県つくば美術館（茨城）  
「Japan's [Possible] Future」 Souya Handa Gallery Projects（東京）  
2021年 「琉球の横顔 -描かれた『私』からの出発-」 沖縄県立博物館・美術館（沖縄）  
「『風景』のつくりかた」 目黒区美術館区民ギャラリー（東京）  
「人間臭さを勝ち取るための実践」 Alt\_Medium（東京）  
2022年 「3331 ART FAIR 2022」 アーツ千代田 3331（東京）  
「東京藝大アートフェス 2022」 オンライン展示  
2023年 「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023 『態度が〈写真〉になるならば』」 東京建物八重洲ビル（東京）  
「IWAKAN Magazine 6th EXHIBITION -男性制」 C7C gallery and shop（愛知）  
「沖縄画 - 8人の美術家による、現代沖縄の美術の諸相」 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館（沖縄）  
「In this body of mine」 MassART x SoWa（アメリカ）  
「IWAKAN Magazine 6th EXHIBITION -男性制」 gallery-1（東京）  
2024年 「あらがう」 福岡市美術館（福岡）  
「先端芸術表現科 助手展 2024」 東京藝術大学取手校地専門教育棟（茨城）  
「Weekenders tiny little art fair (from Souya Handa Projects)」 Sansiao Gallery（東京）  
2025年 「Salon Et Cetera Ace」 House Collective（インドネシア）  
「藝大 Next2025」 Yamanote Line Museum（東京）  
「WHAT CAFE EXHIBITION vol.41 ON PAPER: Art and Print Market」 WHAT CAFÉ（東京）  
「新収蔵品展」 福岡市美術館（福岡）  
「アライブ！展」 BankART Station（神奈川）

## 【アーティスト・イン・レジデンス】

2023年 城崎国際アートセンター（兵庫）

## 【受賞】

2014年 第1回 WORKSHOP フォトネシア写真学校 ポートフォリオレビュー審査員賞（森栄喜選）  
2022年 3331 ART FAIR 2022 コレクター・プライズ（林暁甫賞）  
BankART Under 35 2022 選出  
東京藝大アートフェス 2022 入選  
2023年 東京藝大アートフェス 2023 優秀賞  
PITCH GRANT グラント受賞  
2024年 SHIBUYA ARTAWARDS 2023 入選  
2025年 T3 NEW TALENT 新進作家部門ファイナリスト

## 【コレクション】

福岡市美術館